



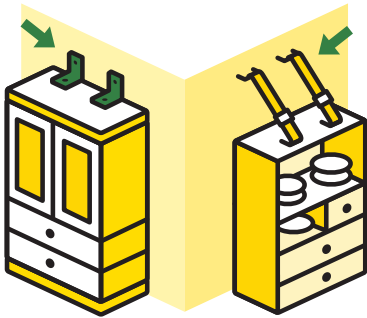
愛着のある家具を 凶器にしないために

16年前の阪神淡路大震災のデータによると、家の中で負ったケガの原因の約50%が「家具の転倒」だったようです。先日発生した3.11の東日本大震災では、東京エリアも大きな揺れに見舞われ、タンスの上のモノやテレビ、パソコンなどが落下したという話をよく耳にします。「家具は倒れるのではなく、飛んできました。」阪神淡路大震災の被災者の声です。選びぬいて購入した愛着のある家具を凶器にしないために、「家具の転倒防止」は個人がすぐにできる最重要な防災対策です。本サイトでは、地デジ化移行で各家庭に一気に導入されている液晶薄型テレビの転倒防止策も新たに加えました。家具以外の照明や窓ガラスなどの防災対策も紹介しています。ぜひこのコーナーを参考にし、自分の、家族の命を守る防災対策の第一歩を踏み出してください。





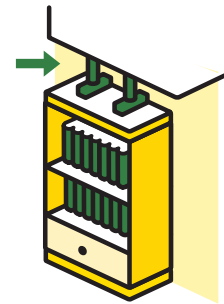
家の中の防災対策



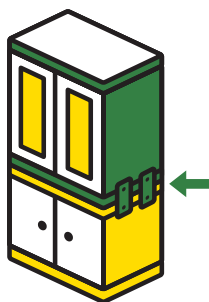
L型金具やベルト式器具などで、
家具と壁とを固定する。



ストッパー式器具で、
家具を壁側に傾斜させる。



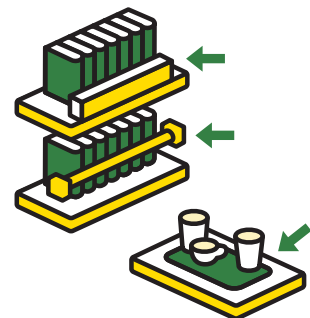
家具と天井との間を、
つっぱり棒などで固定する。



二段重ねの家具は、
平型金具などで上下を
連結し、一体化させる。



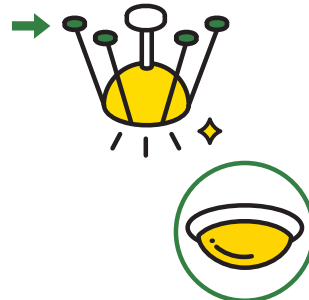
引き出しや開き扉には、
飛び出し防止器具を
取り付ける。



本棚などには、
すべり止めシートや
落下防止器具を取り付ける。



PC 機器類は、粘着マットや
ストラップ式器具で
机と固定する。



照明器具は、
直付照明器具に交換するか、
数カ所固定する。

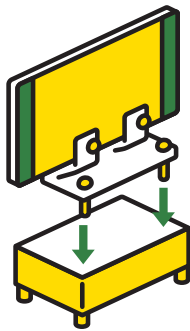


窓ガラスは、飛散防止対策済みの
ガラスに交換するか、
飛散防止フィルムを貼る。



薄型液晶テレビの固定方法

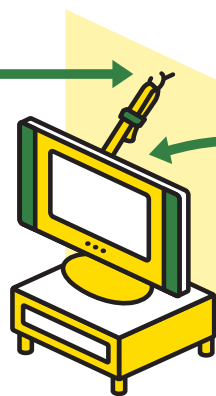
◎ 薄型液晶テレビとテレビ台の固定



対応可能な製品の場合、テレビ本体とテレビ台をボルトなどで固定する。
※取扱説明書に従って取り付けましょう。

ボルト固定ができない場合、テレビ本体とテレビ台をストラップ式器具や粘着性マットなどで固定する。

◎ 薄型液晶テレビと壁・柱の連結

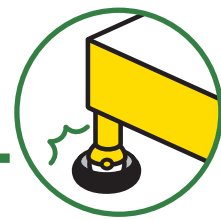
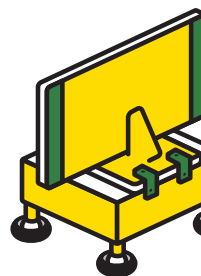


テレビ本体と壁や柱をロープとヒートンなどを利用して連結する。
※壁や柱の強度とヒートンや紐の太さ・強度を確認しましょう。

◎ テレビ台と床・壁の固定



テレビ台と床や壁をL字金具やベルト式器具などで固定する。

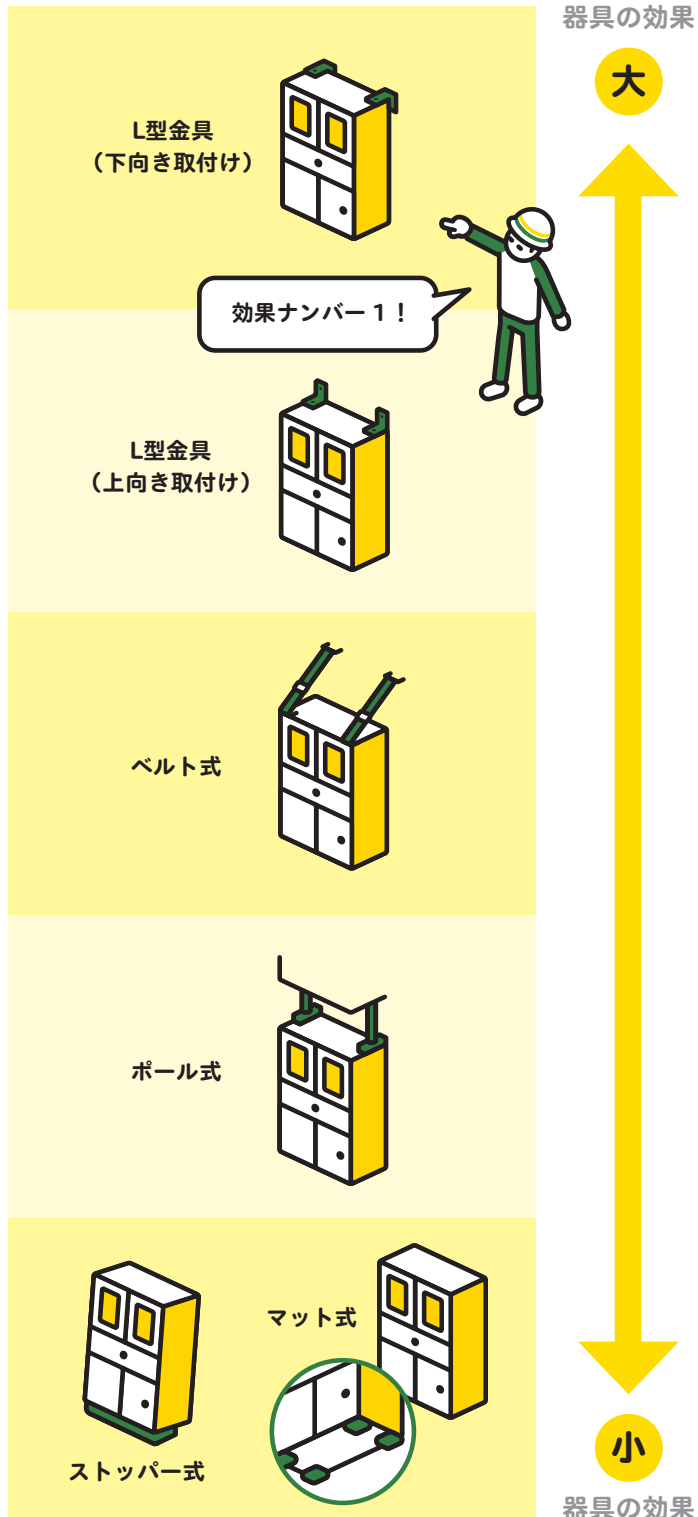


キャスター式のテレビ台の場合は、ゴム製キャップなどをして転がらないようにする。

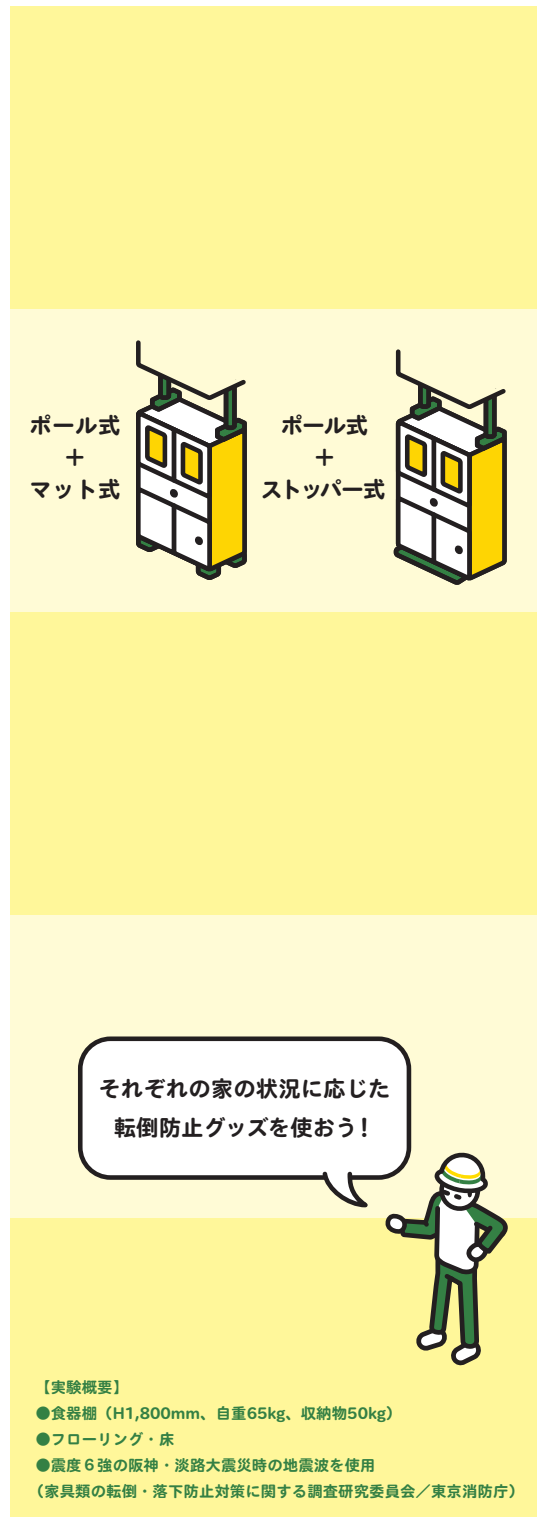


家具転倒防止グッズの効果

単独使用



組み合わせて使用



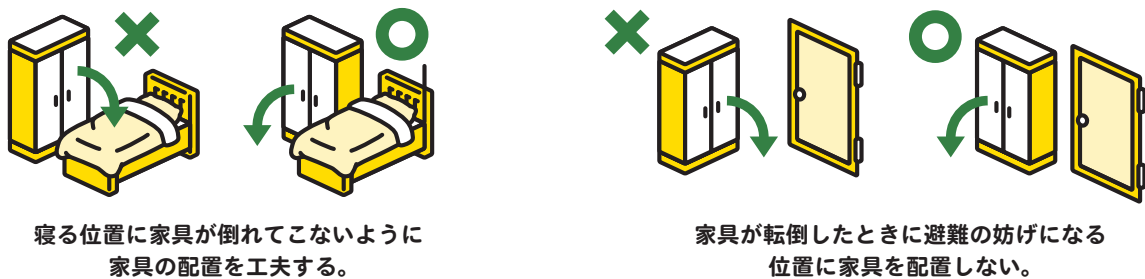


すぐにでもできる家の中の地震対策

家具転倒防止



家具配置の工夫



ガラスの飛散防止・危険物の落下防止



シンプル防災

